

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束はしてはいけない、あってはならないと認識をし、身体拘束をしないケアに取り組んでいるものの、身体拘束の11項目を把握できていない現状である。	身体拘束の11項目を把握する。	身体拘束11項目を理解するために、また覚えやすくするために、11項目を、職員が見やすい所に貼り付ける。いつでも「11項目とは?」、見れることにより、理解を得、内容を把握できるように努めていく。	12か月
2	20	馴染みの人や場との関係継続において、まだ少ない部分もある。	もっと色々な方と交流できるように対応して行く。	今までは、お祭りの時一部の方しか来てない為、もっとグループホームを知って頂き、交流の場を提供できるように、地域の方にお祭りの際、案内状を配る。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。